

稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



いなッピーバス(善光寺)にて



新年のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

平成28年の新春を迎え会員の皆様には心からお喜び申し上げます。

稲沢市観光協会は、発足以来10年を迎えることができました。稲沢市の観光事業推進に事務局職員共々全力を傾注してまいりましたが、その間会員皆様方の一方ならぬ御協力と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年3月には、「いなざわ梅まつり」、4月の各地での「桜まつり」と「植木まつり」、6月の「稲沢あじさいまつり」、10月の「サンドフェスタ」、「稲沢まつり」、11月の「そぶえイチョウ黄葉まつり」など各季節に応じた稲沢の特色を生かした行事には、市内外から大勢の方々を訪れ、稲沢の自然を楽しんでいただきました。

稲沢市の特産物を紹介する事業としては、「地産地消のおしゃれな料理教室パート6」の開催や「特産品紹介」等により本市の食文化の普及発展を期してまいりました。

10月から実施いたしました「おすすめグルメシールラリー」や11月に実施しました「いなっピーバス」

につきましては、市内外の多くの方々に参加していただき好評を博したところであります。皆様方のご協力に感謝申し上げます。

近年、日本への海外からの旅行者の増加傾向が顕著で、国が2020年に目標としていた2千万人はすでに突破しそうな勢いであり、早速3千万人へと変更されたところであります。これらの経済効果は3兆円余りともいわれ非常に大きなものであり、本市においても、おもてなしの心で多くの観光客をお迎えしたいものであります。

市では、そのための調査研究を外部団体に委託して実施中でありますので、インバウンド効果を期待しつつ積極的に協力をしていく考えであります。

本年も、関係機関との連携強化に努め、「第10回いなざわ梅まつり」の開催をはじめ、観光資源の発掘、情報発信の充実を図りながら、多くの皆様にお越しいただけるよう努力してまいりますので、会員の方々の始め、市民の皆様の御支援と御協力をよろしくお願ひ申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



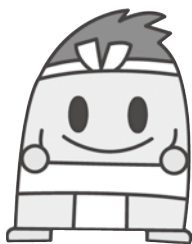
稲沢市観光協会 副会長
山田 信行



稲沢市のキャッチコピー



稲沢市長
大野 紀明



©稲沢市 いなっピー

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、お健やかに清々しい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また平素より、市政の各般にわたりまして、御支援と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

日本を訪れる外国人観光客の数は、円安の背景もあって、年々増加傾向が続いており、1年間の訪日外客数は、2010年(平成22年)に約800万人でありましたが、2014年(平成26年)には約1300万人、昨年2015年(平成27年)は10月の時点で約1600万人を超える方が訪れていると、日本政府観光局の統計データに表れており、毎年のように過去最高の記録を塗り替えています。

2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピック開催や2027年(平成39年)のリニア中央新幹線開業を見据え、日本の各地では、外国人観光客を含む観光の推進に力を入れております。特にリニア中央新幹線は、名古屋に新駅が設けられ、東京名古屋間が40分で結ばれることになるため、海外からの観光客はもちろん、国内の来訪者が多くこの地域を訪れることが期待されています。

稲沢市観光協会は平成18年に設立され、本市の観光振興の推進母体として観光のまちを目指し、活動していただいております。観光協会が実施する事業は、

参加者が毎年楽しみにしていただけるように定着してきたと感じております。

この3月には、愛知県植木センターで初春の風物詩として親しまれています『第10回いなざわ梅まつり』が開催されます。稲沢の観光地や名所地をバスで巡っていただく催しや、食をテーマにしたグルメシールラリーも好評で、稲沢市の飲食店や観光地、名所等の魅力を存分にPRしていただいております。また、イベント時には観光ボランティアの皆さんが、きめ細かな配慮と温かい心で、稲沢市キャンペーンレディの皆さんには、明るく元気な稲沢市をアピールしていただくなど、来場者にはおもてなしの精神で接していただいておりますことに感謝いたします。観光事業の推進は地域を活性化するものであり、今後の事業の展開に御期待申し上げます。

市では、「安心・安全で元気な稲沢」を目指し、稲沢市観光協会と連携し、より充実した事業を展開し、市民の皆様が誇りと愛着の持てる観光まちづくりの推進に努めてまいりますので、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

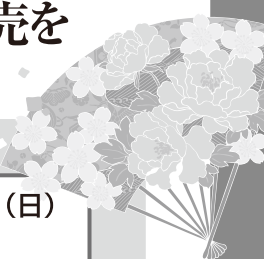
結びに当たり、本年が皆様方にとって幸多い良き年となりますよう、心から御祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

謹賀新年

稲沢市観光協会 役員名簿
(一月一日現在)

監事	理事	副会長	名誉会長	相談役	顧問
松橋 服加 鷓林 浅野 渡邊 岩田 加藤 小山 林 瀬川 愛甲 白比野 眞野 山田 大野 吉川 久保田 加藤	宗正 正見 久昌 克彦 茂夫 博 良幹 正行 睦郎 照代 敬順 公宏 昇寛 昭光 宏男 信行 紀明 昭	森岡 山田 岩間 酒井 伊藤 家田 川瀬 山内 福島 岡田 浅井 山脇 齊藤 水谷 山田 信行	庸晃 洋 福幸 章治 昭 鐵彦 観隆 晴雄 俊治 真志 耕治 敏夫 光宏 信行	鈴木 純	

各種イベントに参加し観光PRと"いなっピーグッズ"や特産品の販売を行い、いずれの会場においても大変好評でした。



稲沢サンドフェスタ

今年度もイベント開催を二日間とし、砂像の制作期間(9月26日～10月9日)14日間、展示期間(10月10日・11日)に制作の様子や完成品の見学ができるようになりました。

来場者は、イベント開催の両日とも天候に恵まれ、49,000人が来場されました。

会場となりました国営木曾三川公園ワイルドネイチャープラザ、県営木曾川祖父江緑地、市営祖父江ワイルドネイチャー緑地の3施設の総合愛称として「サリオパーク祖父江」と平成24年3月決定されて、4回目のサンドフェスタでありました。砂像のテーマを「Festival～祭り～」と題して10作品が制作され、チーム名「たくぼー&ななっぺ&ことちゃん」の題名「～SEA FESUTIBARU MEETING～」が金賞の栄冠に輝きました。その他のイベントとしては、サンドアート体験コーナー、宝さがし大会、スタンプラ

- 期 日／平成27年10月10日(土)・11日(日)
- 場 所／サリオパーク祖父江

リー、飲食店コーナーなどたくさんの催し物が開催され、参加者は夢中になっていました。

また、今年度の「ご当地キャラクター大集合!」では、「いなっピー」を始め近隣の「いちみん」、「あまえん坊」、「い～わくん」、など、県外からも「タボくん」、「いが☆グリオ」、「キララちゃん」など34体が出演し、チビっ子達との触れ合いや、記念写真を撮っていました。

観光協会では、観光コーナーを設置し、稲沢市観光ガイドマップや観光チラシ等で観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



金賞「～SEA FESUTIBARU MEETING～海祭の集い」(チーム名/たくぼー&ななっぺ&ことちゃん)



稲沢まつり

今年は、17日(土)・18日(日)の二日間開催されましたが、天候にも恵まれ来場者は、両日で93,000人の人出でありました。

国府宮神社参道の両側では、地元特産品販売などの出店や側道には露店が立ち並びました。また、参道屋外ステージでは、AMEMIYAスペシャルin稲沢や稲沢アイドルユニット(稲沢市PR大使)「LOVE♥INA30」などのライブが行われ、稲沢中学校会場では、ジャングルプレイランド、エア型迷路にはちびっ子の行列ができ大人気でした。

国府宮神社参道では、園児鼓笛隊パレードが行われましたが、園児の姿を必死に追う両親や祖父母の姿が印象的でした。

- 期 日／平成27年10月17日(土)・18日(日)
- 場 所／国府宮神社参道、稲沢中学校、名古屋文理大学文化フォーラムほか

名古屋文理大学文化フォーラムでは、第1回稲沢音楽の集い、秋の芸術祭・芸能発表会など多彩な催し物が行われました。

観光協会では、観光ボランティアの協力を得て稲沢市の観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



ご当地キャラ博 in 彦根

今年は、好天に恵まれ、全国から集まったキャラクター192体がさまざまなパフォーマンスを繰り広げ来場者を楽しませました。

イベント開催日中で、地元をPRするご当地キャラたちが42都道府県から169団体が参加、二日間の来場者数は、99,000人を記録、過去最多となりました。

観光協会は、市職員とともに稲沢市をPRするため今年も参加しました。ステージでは、それぞれのご当地キャラクターが地元のPRを行い「いなっピー」は、多くの来場者との写真撮影にも応じ、

- 期 日／平成27年10月17日(土)・18日(日)
- 場 所／彦根中心市街地商店街一帯

人気を博しておりました。また、会場では、稲沢市の観光パンフレットの配布や、「いなっピーグッズ」の販売も行い、稲沢市のPRを行ってきました。



第18回そぶえイチョウ黄葉まつり

～日本一の黄金色 眺めてよし、^{ひすひ}翡翠色の銀杏 食べてよし!～

第18回そぶえイチョウ黄葉まつりが、11月21日(土)～29日(日)の九日間にわたり開催されました。初日の21日(土)は、稲沢市長はじめ多くの来賓をお迎えし、オープニングセレモニーやイベント・アトラクションなど盛り沢山の催し物が開催されました。また、屋近くには大村愛知県知事も来場されました。

今年も、テレビ局、ラジオ局、新聞等の報道関係からイチョウの黄葉や銀杏料理などについて、各種番組等に多く取りあげていただいた影響もあり、県内外から交通手段、イチョウ黄葉の見頃についての問い合わせなども頻繁にありました。期間中の、振替休日、土曜・日曜日には、イベントも開催され、祐専寺・上屋敷会場に出展された地元飲食組合のお店や物販店では、観光客でごった返し、農家の人たちも銀杏の販売に追われていました。

11月29日には、「いなっピーふれあいステージ」、「歌謡ショー」や「LOVE♥INA30」のライブなども開催され大好評でした。

- 期 日／平成27年11月21日(土)～29日(日)
- 場 所／山崎祐専寺会場、山崎上屋敷

観光協会では、市内外からイチョウ黄葉を見に来ていただいた観光客の方々に稲沢市の観光ガイドマップや、観光ガイドブック、祖父江善光寺東海別院、尾張七福神めぐり、荻須記念美術館などのチラシによる観光案内、「いなっピーグッズ」の販売をとおりて稲沢市のPRも行いました。

今年のイチョウの黄葉は、温暖な気温のため、色づきが遅れておりましたが、まつり後半には、見ごろとなり、山崎会場周辺では黄葉を楽しむ多くの人が訪れていました。



いなっぴーバスに乗って観光地を巡ろう!

～秋です。いなっぴーバスに乗って、自然の風情と歴史・文化を楽しもう～

観光協会では、市内外の方々に稲沢市の観光スポットを知っていただくため、市内の観光地を回るための巡回バスを1日8便(1時間おき)運行しました。

運行に当たっては、昨年実施のいなっぴーバスを参考に、そぶえイチョウ黄葉まつりの開催期間に併せ、参加者を募集しました。

当日は、風もなく絶好の行楽日とで、参加者も全体で120名の参加がありました。

参加者は、観光ボランティアによる案内や観光協会が作成した「いなっぴーバス一日乗り放題!」マップを手に、随所を巡りながら、ちょっぴりプレゼントに協賛していただいたお店などへ立寄り、1日楽しく観光地の散策をしていただきました。

また、スタンプラリーにも多数の方が応募され、厳正な抽選の結果、「はっぴーいなっぴー賞」に川口さん始め10名、「らっきーいなっぴー賞」に恒川さん始め10名が当選されましたので、賞品を発送させていただきました。

●期 日／平成27年11月22日(日)

●コース／市役所－荻須記念美術館－
国府宮駅－稲葉宿跡A－稲葉宿跡B－
森上駅－そぶえイチョウ黄葉まつり会場－
ふれあいの郷－刈萱堂－善光寺－
祖父江支所－地泉院－下水道科学館－
矢合観音－市役所



いなっぴーと一緒に稲沢市のPR活動

"いなっぴー"と一緒に市内外に出かけ、観光パンフレットによる観光PRや"いなっぴーグッズ"の販売を行いました。



小学生特別指導会兼 第6回全日本小学生ボウリング競技大会

- 期日／平成27年8月1日(土)
- 場所／稲沢グラウンドボウル
- 参加者数／選手、役員監督等 約300人



第10回愛知県市町村対抗 駅伝競走大会「愛知ふるさと市」

- 期日／平成27年12月5日(土)
- 場所／愛・地球博記念公園
- 出展ブース／35ブース

観光ボランティア視察研修実施

●期 日／平成27年10月7日(水)

●場 所／観光協会集合出発－郡上八幡観光協会【観光協会見学・意見交換】－昼食－郡上市内見学【城下町周辺など散策】－美濃市うだつの町並み見学－観光協会到着解散

観光ボランティアの資質向上を目指すため、毎年研修会を実施しておりますが、今回は設立10周年を記念して、市外での研修を実施しました。

研修先は、これまでイベントの出店などでかかわりの深い岐阜県郡上市を訪問させていただきました。

10月7日水曜日、秋晴れのもと会員21人と市、観光協会職員3人を乗せたバスは9時に稲沢市を出発し、10時40分に郡上八幡観光協会へ到着しました。

そこで、郡上八幡観光協会田口会長、岡崎事務局長から郡上八幡の観光や協会の観光事業への取組みの説明を受け、お互いに意見交換がなされました。そして昼食後には、実際に観光ガイドの方に市内を案内していただき、市民の「観光の街づくり」に対する熱心な取組みを肌で感じ、午後2時15分帰途につきました。

また、帰路の途中には、美濃市で下車し、旧街道の面影を今に残すうだつの町並みも見学することができました。

午後5時には無事稲沢市に帰着し、内容の濃い一日の日程を終えることができました。



01 天下の奇祭『国府宮はだか祭』

●平成28年2月20日(土) ●場所/尾張大國霊神社(国府宮神社) TEL0587-23-2121
 ●交通/名鉄名古屋本線『国府宮駅』から徒歩5分・JR東海道本線『稲沢駅』から徒歩15分

「はだか祭」は、正式名称を「儼追神事(なおいしんじ)」と言います。今から約1250年前、奈良時代の神護景雲元年(767年)称徳天皇が、「全国の国分寺に悪疫退散を祈れ」と勅命を発した際、尾張国司が総社である尾張大國霊神社に於いても祈禱したのが、儼追神事となって現在まで伝えられています。

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮神社一帯は祭りの興奮に包まれます。

祭りは、42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円からサラシのフンドシ、白足袋をつけただけの数千人の裸男が、裸になれない老若男女が厄除けの祈願を込めた布(なおいぎれ)を結び付けた「なおい笹」を、裸男たちが身代わりに捧げて威勢よく拝殿へ駆け込みます。

また、国府宮神社参道では、神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみ合います。



1
なおいしんじ しめばらたてしき
儼追神事(はだか祭) 標柱建式

旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「儼追神事」と大書された標柱が楼門前に建てられ、祭りの開幕を告げます。



2
なおいにん(しんおとこ) せんていしき
儼負人(神男) 選定式

午前10時、志願者を儼追殿に集めてその年の神男を選定。神男は三日三晩、儼追殿にこもり祭りの本番にそなえます。



3
おおかがみもちほうのう
大鏡餅奉納

お供えとして奉納される大鏡餅は、なんと50俵どり(約4トン)という巨大な代物。祭りの前日、神男に迎えられ拝殿へ納められます。




4
なおいしんじ
儼追神事(はだか祭)

旧暦正月13日午後3時過ぎ、神男に触れて厄を落とそうとする裸男たちが神男を待ち構えて揉み合う。そこへ神男がとびこみ、祭りはクライマックスを迎えます。



5
よなおいしんじ
夜儼追神事

午前3時、罪穢をつきこんだ土餅を背負った神男が境外へと追い出されます。そして、神男は途中で土餅をすてて帰宅し、神職はこの餅を地中に埋め、罪穢を封じ込めます。



6
おおかがみもちもちきりはじめ
大鏡餅餅切始

旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って参拝者に授与。この餅を食べると無病息災で過ごせるとの言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。

◆はだか祭関係行事日程表(平成28年)

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月9日(火)	午前9時	① なおいしんじしめばらたてしき 儼追神事標柱建式	正月2日
2月9日(火)	午前10時	② なおいにん(しんおとこ)せんていしき 儼負人(神男)選定式	正月2日
2月13日(土)	午前9時	おおかがみもちもちめあらい 大鏡餅米洗	正月6日
2月14日(日)	午前5時	おおかがみもちもちつき 大鏡餅餅搗	正月7日
2月17日(水)	午後5時	なおいにん(しんおとこ)せんろう 儼負人(神男)参籠	正月10日
2月18日(木)	午前9時	つちもちつきしんじならびにひらしたため 土餅搗神事並秘符認	正月11日
2月18日(木)	午前9時	おおかがみもちもちかざりつけ 大鏡餅飾付	正月11日

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月19日(金)	午後1時	③ おおかがみもちもちほうのう 大鏡餅奉納	正月12日
2月19日(金)	午後7時	ちようやしんじ 庁舎神事	正月12日
2月20日(土)	午後3時	④ なおいしんじ 儼追神事(はだか祭)	正月13日
2月21日(日)	午前3時	⑤ よなおいしんじ 夜儼追神事	正月14日
2月21日(日)	午前8時	⑥ おおかがみもちもちきりはじめ 大鏡餅餅切始	正月14日
2月24日(水)	午後7時	まとしんじ 的射神事	正月17日
2月28日(日)	午前9時30分	ちやかい なおい茶会	

稲沢市キャンペーン・レディーを募集

市の観光事業やイベントなどを、より一層華やかに盛り上げるため、歴史と文化のまちにふさわしい、活動的なかたを募集します。

募集人員：3名

- 応募資格：① 満18歳から満35歳までの女性
 ② 市、観光協会などの事業に1年間参加できる方
 ③ 親権者、雇用主の承諾を得た方
 ④ 類似した職務の任期中でない方

応募期間：平成28年1月4日(月)～1月28日(木)

応募方法：申込用紙に必要事項を記入し、上半身の写真を添えて、稲沢市観光協会へ

申込用紙：稲沢市(本庁、支所、市民センター)及び観光協会にあります
 面接審査：2月12日(金)

主な業務：観光協会及び市等が開催するイベント、各種行事のPR活動

任期：平成28年4月1日～平成29年3月31日

その他：① 日当 9,200円 ② 交通費、食費は支給しません

③ 被服、その他装飾品は貸与します

④ 勤務中の災害は加入保険の範囲で補償します

問合せ先 稲沢市観光協会 電話 0587-22-1414

02 第10回いなざわ梅まつり

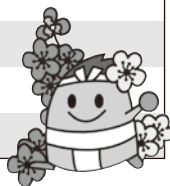
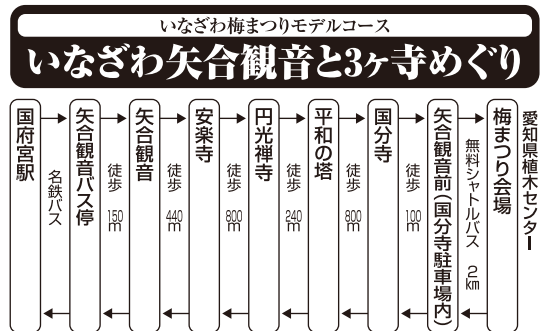
“みんなでいこまいかあ〜”稲沢へ!!

●平成28年3月5日(土)・6日(日) ●AM9:30~PM4:00
 information ●場所/愛知県植木センター

稲沢市は、全国的に植木、苗木の日本4大生産地の一つとして知られており、植木、苗木の研究・研修機関として愛知県植木センターが開設されています。園内には多種多様な樹木が集められており、四季折々に花が咲いております。とりわけ、梅は104種類、200本余りが植栽されており、全国的にも大変貴重な見本園であり開花時期には多数の見学者で賑わいます。

早春に美しい花を咲かせる梅の花を、皆様に堪能していただくため、愛知県植木センターの協力を得まして第10回いなざわ梅まつりを開催します。

イベント内容	日時
写真・俳句大会入賞作品展	2月23日(火)~3月6日(日)
写真コンテスト	2月29日(月)~応募締切まで
俳句大会	2月29日(月)~3月6日(日) 執務時間中
盆梅・お雛様・吊し雛展	3月2日(水)~3月6日(日)
飲食・抹茶コーナー	3月5日(土)・6日(日)
稲沢市特産品の販売	3月5日(土)・6日(日)
植木・苗木の販売	3月5日(土)・6日(日)
郵便切手販売	3月5日(土)・6日(日)
樹木ウォッチング	3月5日(土)・6日(日)
樹木医による緑化相談	3月5日(土)・6日(日)
県緑化樹木共進会受賞写真展	3月5日(土)・6日(日)
スタンプラリー	3月5日(土)・6日(日)
子供向けコーナー	3月5日(土)・6日(日)
健康相談コーナー	3月5日(土)・6日(日)



03 へいわさくらまつり

●平成28年4月2日(土)
 information ●場所/平和町体育館

《イベント》ステージイベント、飲食コーナー、抽選会など
 平和町には、総延長約2.8kmを桜並木でつないでいる桜ネットワークがあります。

ここには、八重桜を中心に約60種類の里桜およそ1400本が咲き誇り、3月から4月末まで楽しむことができます。



04 稲沢桜まつり

●平成28年4月2日(土)
 information ●場所/国府宮神社参道一帯

《イベント》ステージイベント、茶会、写生大会、飲食コーナーなど
 国府宮神社参道に咲く満開の桜の下で、茶会や演奏会、写生大会などの催しが開かれます。
 夜には桜をライトアップし、美しい桜が浮かび上がります。



稲沢市観光協会会員を募集しています

会費：法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上

平成18年8月7日に稲沢市観光協会が設立して、はや11年目を迎えようとしています。会員の皆様方のご理解とご協力によりまして、事業も着実に進んでいるところで。

今後、さらに観光都市として、市内外からのお客様へのおもてなしのため、観光施設や特産品など観光資源の整備はもとより、歴史、文化、景観といった地域観光への体験の機会や、情報発信などの拡充が必要です。

そこで、稲沢市の観光振興を図るため、観光協会の組織基盤の強化と活性化のため、多くの会員の募集をいたします。お知り合いなどで未加入の方がお見えになりましたら、是非、会員への勧誘をお願いいたします。